



平成30年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年2月14日

上場会社名 宮越ホールディングス株式会社
 コード番号 6620 URL <http://www.miyakoshi-holdings.com>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 宮越 邦正

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 板倉 啓太

TEL 03-3298-7111

四半期報告書提出予定日 平成30年2月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	988	0.0	655	21.0	750	30.5	389	15.3
29年3月期第3四半期	987	4.0	542	16.5	575	1.8	337	4.7

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 501百万円 (%) 29年3月期第3四半期 610百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	14.79	
29年3月期第3四半期	21.37	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第3四半期	14,876	13,350	84.4	418.45
29年3月期	15,113	8,004	48.2	375.43

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 12,559百万円 29年3月期 7,288百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		0.00		0.00	0.00
30年3月期		0.00			
30年3月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,290	4.4	790	9.2	930	26.8	540	43.4	19.81

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

平成30年3月期の連結業績予想の1株当たり当期純利益は、平成29年7月5日に実施した第三者割当増資による新株式(10,600,000株)を含めた予定期中平均株式数により算出しております。

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - 以外の会計方針の変更 : 無
 - 会計上の見積りの変更 : 無
 - 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期3Q	30,014,943 株	29年3月期	19,414,943 株
期末自己株式数	30年3月期3Q	432 株	29年3月期	398 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期3Q	26,352,717 株	29年3月期3Q	15,816,747 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における当社グループをとりまく世界経済は、米国の好調な経済に牽引されて緩やかな回復基調にあり、景気の先行きは比較的安定して推移していくものと思われます。

一方で、当社グループの主要な事業拠点である中国深圳市は、国際都市として堅実な経済成長を続け、物価、不動産価格の上昇率は他の地域に比べ、いずれも高い伸び率を示し、一人当たりのGDPではすでに北京、上海を上回っております。

このような状況にあつて当グループは、深圳市における不動産の賃貸管理及び開発事業において、所有不動産物件の効率的な活用とハイレベルな運用管理を行うことにより、稼働率の高い安定した収益基盤の強化を図り、業績の拡大を進めてまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における営業収益は、988百万円（前年同期比0.0%増）、営業利益655百万円（前年同期比21.0%増）、経常利益750百万円（前年同期比30.5%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益389百万円（前年同期比15.3%増）を計上いたしました。

不動産開発事業について

当社の子会社である深圳皇冠（中国）電子有限公司（以下「皇冠電子」といいます。）が所在する深圳市は、人口1800万人を擁し、中央政府が進めるイノベーションによる現代サービス産業の高度化を担うべく、ハイテク・情報・金融等を基盤とした国際都市への転換を図り、香港・マカオを一体化した一大経済圏の中心に位置する中国華南地区の中心都市として発展を加速させております。

皇冠電子が保有する不動産物件（土地127千㎡、建物114千㎡）は、深圳市の中心部である福田区に位置し、官公庁街に近く、交通インフラ（主要幹線道路、地下鉄駅、高速道路IC、深圳市最大のバスターミナル等）等の都市機能が集中した付加価値の高いエリアにあります。

皇冠電子は、上記不動産について、上記のとおり発展を続ける深圳市福田区に所在する優位性を最大限に活用した、オフィス、商業・サービス、レジデンスなどで構成される総延床面積約700千㎡・建設費約1千2百億円規模の大型総合都市開発プロジェクトを推進しております。当該開発プロジェクトは、「イノベーションを基軸とした総合都市開発」をコンセプトとして、日本をはじめ海外の先進的開発や運営技術を導入した、深圳市経済発展のモデルとなる再開発を目指しております。当該開発事業は、大手金融機関、大手商社、不動産開発事業会社など国内外多方面から支持・協賛を受けており、現在、深圳市政府関係部門と協議調整を図りながら、開発許可の申請に向けてプロジェクトの策定を進めている段階です。

当社グループの報告セグメントは、「不動産開発及び賃貸管理」のみの単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ237百万円減少し、14,876百万円となりました。この主な要因は、のれん及び土地使用権の償却、為替の影響等によるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べ5,583百万円減少し、1,525百万円となりました。また、純資産は、前連結会計年度末に比べ5,345百万円増加し、13,350百万円となりました。これらの主な要因は、第三者割当増資（デット・エクイティ・スワップ）による新株式の発行により、借入金が増加し、資本金及び資本剰余金が増加したことによるものであります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,376	5,981
営業未収入金	104	137
短期貸付金	5,603	1,528
その他	298	223
貸倒引当金	△90	△108
流動資産合計	11,292	7,761
固定資産		
有形固定資産	15	11
無形固定資産		
のれん	315	285
土地使用権	1,169	1,140
その他	0	0
無形固定資産合計	1,484	1,426
投資その他の資産		
長期貸付金	2,058	5,370
その他	262	305
投資その他の資産合計	2,320	5,675
固定資産合計	3,821	7,114
資産合計	15,113	14,876
負債の部		
流動負債		
短期借入金	-	236
1年内返済予定の長期借入金	5,845	-
未払法人税等	61	72
引当金	2	2
その他	438	382
流動負債合計	6,347	693
固定負債		
退職給付に係る負債	6	7
その他	753	825
固定負債合計	760	832
負債合計	7,108	1,525
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,925	5,347
資本剰余金	2,670	5,092
利益剰余金	2,060	2,450
自己株式	△0	△0
株主資本合計	7,655	12,889
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△366	△330
その他の包括利益累計額合計	△366	△330
非支配株主持分	716	791
純資産合計	8,004	13,350
負債純資産合計	15,113	14,876

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
営業収益	987	988
営業原価	211	135
営業総利益	776	852
販売費及び一般管理費	234	196
営業利益	542	655
営業外収益		
受取利息	102	122
その他	0	16
営業外収益合計	103	138
営業外費用		
支払利息	16	16
株式交付費	6	17
支払手数料	5	9
為替差損	39	-
その他	1	0
営業外費用合計	70	44
経常利益	575	750
税金等調整前四半期純利益	575	750
法人税、住民税及び事業税	277	257
法人税等調整額	△92	44
法人税等合計	184	302
四半期純利益	390	448
非支配株主に帰属する四半期純利益	52	58
親会社株主に帰属する四半期純利益	337	389

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
四半期純利益	390	448
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△1,001	53
その他の包括利益合計	△1,001	53
四半期包括利益	△610	501
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△474	426
非支配株主に係る四半期包括利益	△135	75

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成29年7月5日付で、Century Paramount Investment Ltd. 及び Long Wing Holdings Ltd. から現物出資による第三者割当増資の払込みを受けました。この結果、当第3四半期連結累計期間において資本金及び資本準備金がそれぞれ2,422百万円増加し、当第3四半期連結会計期間末における資本金は5,347百万円、資本準備金は4,347百万円となっております。